

〔案〕

資料 1

# 次期総合計画の概要

長期 ビジョン	<p>長期的な岩手県の将来を展望し、県民みんなで目指す将来像と、その実現に向けて取り組む政策の基本方向を明らかにするもの</p> <p>〔計画の期間：2019年度から2028年度の10年間〕</p>
アクション プラン	<p>長期ビジョンの実効性を確保するため、重点的・優先的に取り組むべき政策や具体的な推進方策を盛り込む。</p>

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
	長期ビジョン(10)									
アクション プラン	復興推進プラン(4)				第2期以降の「復興推進プラン」の取扱いは、 今後の復興の状況を踏まえながら検討					
	政策推進プラン(4) 地域振興プラン(4) 行政経営プラン(4)				政策推進プラン(4) 地域振興プラン(4) 行政経営プラン(4)			政策推進プラン(2) 地域振興プラン(2) 行政経営プラン(2)		

( ) 内は期間年数

# 長期ビジョン最終案

**はじめに**（計画策定の趣旨・役割、計画の期間・構成、推進の考え方 等）

## 第1章 理念

（時代的背景、本県における背景、幸福をキーワードとした計画策定 等）

## 第2章 岩手は今（現状認識・展望）

（世界、日本、岩手を取り巻く時代の潮流）

## 第3章 基本目標

東日本大震災津波の経験に基づき、  
引き続き復興に取り組みながら、  
お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて

## 第4章 復興推進の基本方向

## 第5章 政策推進の基本方向

## 第6章 新しい時代を切り拓くプロジェクト

## 第7章 地域振興の展開方向

（4広域圏の振興、県境や広域圏を越えた広域的な連携の強化 等）

## 第8章 行政経営の基本姿勢

## 第4章 復興推進の基本方向(取組の原則と目指す姿)

### 1 復興の取組の原則

「東日本大震災津波からの復興に向けた基本方針」に掲げた2つの原則を引き継ぐ

#### **基本方針を貫く2つの原則**

- ・ 被災者の人間らしい「暮らし」、「学び」、「仕事」を確保し、一人ひとりの幸福追求権を保障すること
- ・ 犠牲者の故郷への思いを継承すること

### 2 復興の目指す姿

【復興の目指す姿】

**「いのちを守り 海と大地と共に生きる**

**ふるさと岩手・三陸の創造」**

(岩手県東日本大震災津波復興基本計画から継承)

## 第4章 復興推進の基本方向（4本の柱）

### 3 復興推進の基本的な考え方と取組方向

#### 【復興の推進に当たって重視する視点】

(1) 参画 ～若者・女性などの参画による地域づくりを促進します～

(2) 交流 ～人やモノの交流の活発化による創造的な地域づくりを促進します～

(3) 連携 ～多様な主体が連携し、復興などの取組を推進します～

#### 【「より良い復興～4本の柱～」と取組方向】

(1) 安全の確保 ① 防災のまちづくり ② 交通ネットワーク

(2) 暮らしの再建 ③ 生活・雇用 ④ 保健・医療・福祉  
⑤ 教育・文化・スポーツ ⑥ 地域コミュニティ  
⑦ 市町村行政機能支援

(3) なりわいの再生 ⑧ 水産業・農林業 ⑨ 商工業 ⑩ 観光

(4) 未来のための伝承・発信【新規】 ⑪ 事実・教訓の伝承  
⑫ 復興情報発信

## 第5章 政策推進の基本方向（10の政策分野）

「岩手の幸福に関する指標」研究会から示された幸福に関する12の領域を基に、「健康・余暇」から「自然環境」までの8つの政策分野と、全体を下支えする「社会基盤」、「参画」からなる10の政策体系を構築

I 健康・余暇 健康寿命が長く、いきいきと暮らすことができ、また、自分らしく自由な時間を楽しむことができる岩手	II 家族・子育て 家族の形に合った子育てや支え合いが育まれ、また、安心して子育てをすることができる岩手	III 教育 学びや人づくりによって、将来に向かって可能性を伸ばし、自分の夢を実現できる岩手	IV 居住環境 コミュニティの不便を感じないで日常生活を送ることができる岩手、また、人や地域の結び付きの中で、助け合って暮らすことができる岩手	V 安全 災害をはじめとした様々なリスクへの備えがあり、事故や犯罪が少なく、安全で、安心を実感することができる岩手	VI 仕事・収入 農林水産業やものづくり産業などの活力ある産業のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手	VII 歴史・文化 豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手	VIII 自然環境 一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手
--	---	---	--	--	---	--	--

### IX 社会基盤

～防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手～

### X 参画

～男女共同参画や若者・女性、高齢者、障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手～

## 第5章 政策推進の基本方向（いわて幸福関連指標）

10の政策分野に、幸福に関連する客観的指標（いわて幸福関連指標）を設定し、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開

10の政策分野	指 標
(1) 健康・余暇	①健康寿命 ②余暇時間
(2) 家族・子育て	①合計特殊出生率 ②男性の家事時間割合 ③総実労働時間
(3) 教育	①意欲を持って自ら進んで学ぼうとする児童生徒の割合 ②自己肯定感を持つ児童生徒の割合 ③体力・運動能力が標準以上の児童生徒の割合 ④高卒者の県内就職率
(4) 居住環境・コミュニティ	①県外からの移住・定住者数 ②地縁的な活動への参加割合
(5) 安全	①自主防災組織の組織率 ②刑法犯認知件数 ③交通事故発生件数
(6) 仕事・収入	①一人当たり県民所得 ②正社員の有効求人倍率 ③総実労働時間〔再掲〕 ④高卒者の県内就職率〔再掲〕
(7) 歴史・文化	①世界遺産等の来訪者数 ②国・県指定文化財件数
(8) 自然環境	①岩手の代表的希少野生動植物の個体・つがい数 ②再生可能エネルギーによる電力自給率 ③自然公園の利用者数
(9) 社会基盤	①河川整備率 ②緊急輸送道路の整備延長
(10) 参画	①労働者総数に占める女性の割合 ②障がい者の雇用率 ③高齢者のボランティア活動比率 ④男性の家事時間割合〔再掲〕



# 第6章 新しい時代を切り拓くプロジェクト

10年後の将来像の実現をより確かなものとし、さらに、その先を見据え、長期的な視点に立って、新しい時代を切り拓いていく、11のプロジェクト

## 1 ILCプロジェクト

ILCの実現により、世界トップレベルの頭脳や最先端の技術、高度な人材が集積されることから、イノベーションを創出する環境の整備などを進めることにより、知と技術が集積された国際研究拠点の実現を目指す。



## 2 北上川バレープロジェクト

県央広域振興圏と県南広域振興圏にまたがる北上川流域において自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積が進み、新たな雇用の創出が見込まれることを生かし、両振興圏の広域的な連携の更なる促進や、第4次産業革命技術のあらゆる産業・生活分野への導入などを通じて、働きやすく、暮らしやすい、21世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指す。





### 3 三陸防災復興ゾーンプロジェクト

東日本大震災津波からの復興の取組により大きく進展したまちづくりや交通ネットワーク、港湾機能などを生かした地域産業の振興を図るとともに、三陸防災復興プロジェクト2019等を契機として生み出される効果を持続し、三陸地域の多様な魅力を発信して国内外との交流を活発化することにより、岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として持続的に発展するゾーンの創造を目指す。

#### 岩手県と国内外をつなぐ海側の結節点として 持続的に発展する三陸防災復興ゾーンの創造

##### 世界の防災力向上に貢献する三陸

- 東日本大震災津波伝承館や関連資料を活用した復興ツーリズムの定着により交流人口が拡大
- 東日本大震災津波の記憶や教訓の伝承により、世界の津波防災力が向上



##### 多様な交通ネットワークでつながる三陸

- 企業誘致や経営革新により産業が活性化
- 港湾等を活用した輸出入が拡大
- 三陸鉄道や航路などを活用した観光客が増加
- まちのにぎわい空間を活用した交流が拡大



##### ジオパークで世界とつながる三陸

- 三陸ジオパークをテーマとした教育により地域住民の意識が向上
- ジオパーク活動を通じて交流人口が拡大



##### 世界に誇れる食とスポーツでつながる三陸

- フードツーリズムの推進や次世代の育成を通じて世界に誇れる食のまちが形成
- スポーツツーリズムの推進により交流人口が拡大



##### 様々な人材が活躍する三陸

- 三陸の産業振興や地域振興をけん引する人材が活躍
- 多様な働く場が形成され若者の地元定着が促進



## 4 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

豊かな地域資源と高速交通網の進展を生かし、地域の特徴的な産業の振興や、圏域を越えた広域連携による交流人口の拡大、豊富な再生可能エネルギー資源の産業分野・生活分野での利用促進など、県北圏域をはじめとする北いわての持つポテンシャルを最大限に発揮させる地域振興を図るとともに、人口減少と高齢化、環境問題に対応する社会づくりを一体的に推進することで、あらゆる世代がいきいきと暮らし、持続的に発展する先進的なゾーンの創造を目指す。



### 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

あらゆる世代がいきいきと暮らし持続的に発展する地域へ

エコロジーで

資源の心配がなく

老若男女が全員参加し

心もモノも豊かで

雇用のある社会

<h4>あらゆる世代が活躍する地域</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 企業の生産性の向上などによる所得の向上</li><li>○ ライフスタイルに合わせた新しい働き方の拡大</li><li>○ 若者の起業等による新たな仕事の創出</li></ul> 	<h4>多くの人々が行き交う豊かな地域</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 北海道と北東北を周遊する観光客の増加</li><li>○ 近隣の人口集積地からの来訪者の増加</li><li>○ 台湾や東アジアなど外国人観光客の増加</li></ul> 
<h4>豊富な再エネ資源を生かした先進的な地域</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 再エネの一大生産拠点として地域の発展</li><li>○ 地域新電力など新たな再エネビジネスの活用</li><li>○ 産業・社会利用が進み災害に強く、エコロジーな地域</li></ul> 	<h4>中山間地における快適な地域</h4> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 高齢者等が安全・安心に暮らせる地域</li><li>○ シェアリングエコノミーの進展による元気な地域</li><li>○ 多様なコミュニティ活動を通じた社会参画が容易な地域</li></ul> 

#### 一人ひとりが生涯にわたって活躍できる地域

- 子どもたちの地元定着やU・Iターン者の増加
- 地域をけん引する次世代リーダーの活躍
- キャリアチェンジや学びなおしが容易な地域





## 5 活力ある小集落実現プロジェクト

人や地域のつながりが大切にされている岩手県の風土を土台としながら、第4次産業革命技術などを生かした生活サービスの提供をはじめ、地域の課題解決に向けた住民主体の取組の促進を通じて、将来にわたり持続可能な活力ある地域コミュニティの実現を目指す。

## 6 農林水産業高度化推進プロジェクト

岩手県の強みである広大な農地、多様な森林資源、豊富な漁場を背景に、情報通信技術（ICT）やロボット等の最先端技術を最大限に活用した生産現場のイノベーションによる飛躍的な生産性の向上など、農林水産業の高度化を推進し、収益性の高い農林水産業の実現を目指す。

## 7 健幸（けんこう）づくりプロジェクト

県立病院・大学等で保有する医療データ等を生かし、健康・医療・介護データを連結するビッグデータの連携基盤を構築し、その活用を通じて、健康寿命が長くいきいきと暮らすことのできる社会の実現を目指す。

## 8 学びの改革プロジェクト

第4次産業革命技術（AIなど）を活用し、就学前から高校教育までの質が高く切れ目のない教育環境の構築を通じ、新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成を目指す。

## 9 文化スポーツレガシープロジェクト

岩手県が誇る世界遺産や多彩な民俗芸能のほか、希望郷いわて国体・大会の成果等を通じた文化芸術・スポーツへの関心の高まりをレガシーとして次の世代につなげていくため、官民一体による推進体制の構築などにより、魅力ある文化芸術・スポーツのまちづくりを進め、県民が日常的に文化芸術やスポーツに親しみ、楽しみ、そして潤う豊かな社会の実現を目指す。

## 10 水素利活用推進プロジェクト

岩手県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現を目指す。

## 11 人交（じんこう）密度向上プロジェクト

復興支援等を契機とした、多様な主体との交流の拡大を生かし、第4次産業革命技術を活用した「関係人口」の質的・量的な拡大を通じ、世界中がいつでも、どこでも岩手県とつながる社会の実現を目指す。

※健幸：個々人が健康かつ生きがいを持ち、安全・安心で豊かな生活を営むことができること。

※人「交」密度：短期的な交流人口のほか、長期的な定住人口につながる地域や地域の人々と多様に関わる者でもある「関係人口」について、「人数（量的）」と「関係の強さ（質的）」の両面に着目し、用いた言葉。

# 第7章 地域振興の展開方向

## 1 4 広域振興圏の振興

### 【目指す姿】

県央	県都を擁する圏域として、産業・人・暮らしの新たなつながりを生み出す連携の深化により求心力を高め、東北の拠点としての機能を担っている地域
県南	人とのつながり、県南圏域の産業集積や農林業、多様な地域資源を生かしながら、暮らしと産業が調和し、世界に向け岩手の未来を切り拓く地域
沿岸	東日本大震災津波からの復興を着実に進め、その教訓を発信し、新たな交通ネットワークや様々なつながりを生かした新しい三陸の創造により、国内外に開かれた交流拠点として岩手の魅力を高め、広げていく地域
県北	多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域

## 2 県北・沿岸圏域及び過疎地域等の振興

## 3 広域振興圏や県の区域を越えた広域的な連携の強化